

豊中の未来を描こう！！

発行2019年11月

VOL. 157

仕事と家事育児の
両立に奮闘中！！
次女の離乳食開始

豊中市議会議員
無所属

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

2018年度決算審査！！

特殊詐欺被害の防止について

～啓発だけでは防げない！！～

Q. 市内の被害額(件数)の推移は?被害者の共通点は?

A. 平成28年は約3億円(108件)、29年は約2億円(68件)、30年は約2億円(88件)。本年は8月末で約1.1億円(84件)。被害者の8割強が65歳以上の高齢者で、約8割の方が特殊詐欺被害の手口などの情報を得ており、自分は詐欺被害にかからないと回答している。

Q. 独居高齢者世帯に録音付きの電話機の設置補助や、固定電話から携帯電話への切替え補助はできないか?

A. 防犯機能付電話機の設置や携帯電話への切替え補助は、対象者の選定にもよるが、費用面で課題があるが、費用対効果のある物理的、機械的な対策を研究する。

★意見★

特殊詐欺被害の手口などの情報を得ている高齢者の割合がかなり高い一方で被害件数が減らないことを重視し、意識啓発だけでなく、物理的な対策を早急に実施し、市民の財産を守るべき。

値上げが続く介護保険料について

～インセンティブ制度の導入を！！～

Q. 介護保険制度開始時からの保険給付費、保険料基準額、第1号被保険者数、要介護認定者数の推移は?

A. 2000年度から5年ごとの保険給付費は65億円、151億円、197億円、276億円、月額保険料基準額は2884円、3205円、4260円、5661円、第1号被保険者数は56677人、70762人、85592人、100123人、要介護認定者数は4867人、9868人、9973人、13524人となっている。

Q. 介護保険料の今後の見込みは?

A. 後期高齢者人口の増加に伴い介護サービス受給者数の更なる増加が見込まれることから2025年の保険料基準額は月額8161円と推計している。

★意見★

持続可能な介護保険制度を維持していくために、保険給付費の抑制により力をいれるべき。介護保険を全く利用されていない方に対する介護保険料の減免など、健康増進や介護予防の意識向上にも繋がるインセンティブ制度の導入を検討して欲しい。

介護予防、認知症予防について

～第2、第3のキャリアプラン形成へ！！～

Q. 要介護状態や認知症に至る要因は?

A. 要介護状態に至る要因は、脳血管疾患や関節疾患・高齢化による身体・運動・生活機能の低下、転倒による骨折などがきっかけとなることが多く、不活発な生活や低栄養等が原因で起こりやすくなる。また、認知症の発症原因は、遺伝的な要因、高血圧症、糖尿病などの疾患、食事や運動などのライフスタイルが関連していると言われている。

Q. 生きがいづくりが介護予防に繋がるのではないかと?

A. 生きがいを持つことで生活にはりが出て、活動性が高まると考えられることから、介護予防につながると考えている。

★要望★

生きがいを持つことが、介護予防に繋がることを念頭に介護予防、認知症予防事業に取り組んで欲しい。一人でも多くの高齢者が希望の持てる第2、第3のキャリアプランを立てられる支援を検討して欲しい。

高齢者の就労支援について

～新たな居場所や生きがいづくりを！！～

Q. 退職後の高齢者の新たな生きがいや居場所として、仕事や職場はその存在になりうる一つではないか? 現在、就労されている高齢者及び就労希望者の数は?

A. 退職後の高齢者にとっての生きがいや居場所については、それぞれの考え方や状況により異なるが、新たな仕事や職場もその一つになり得ると考えている。本市における高齢者の就業状態については、平成27年度で、65歳以上の99979人のうち、21457人の方が就業しており、819人の方が就業を希望するも失業状態にある。

★要望★

経済的な支援としての就労支援事業としてだけでなく、高齢者の生きがいや居場所づくり支援として、高齢者の老後のキャリア形成に関する相談や助言なども今後、積極的に行って欲しい。

産後ケア事業について

～より幅広い産婦支援を!!～

Q. 市の産後ケア事業の具体的な取り組みは?

A. 産後ケア事業は、母親の心身の不調や育児に不安がある人、養育を安定して行うことが出来ないと思われる人、家庭等から産後の支援が得られない出産後3か月未満の産婦とその子どもを対象に、委託医療機関で、産婦のケアとして、母体の休養、授乳指導、心理面のケアや生活面の指導、子どものケアとして、発育発達の確認やスキンケア、育児に関する相談・指導等を行っている。

★意見★

産後の家事育児の負担軽減を目的に、産褥期もしくは産後半年くらいまでの間、家事や育児支援のヘルパー等の利用に対する助成制度を検討して欲しい。産後間もない母親が家事や育児支援のサービスを利用しやすい環境を整え、母子の安定した愛着形成や育児不安の解消を図るべき。

仕事と家事・育児の両立について

～性別役割分担意識の解消が不可欠!!～

Q. 男女共同参画社会の推進に必要なことは?

A. 家庭や地域、職場などで未だに固定的な性別役割分担意識があり、女性の就労継続やワーク・ライフ・バランスなど課題は多い。そのため、男女の不平等な制度や慣行の見直し、性別役割分担意識の解消をはじめ、女性の多様な働き方支援などに向けた環境整備及びDV被害者支援などが必要。

Q. 性別役割分担意識や、専業主婦世帯と共働き世帯の割合はここ数年、どのような変化がみられてきたのか?

A. 「男は仕事、女は家事・育児」という性別役割分担意識は、平成22年と平成27年で比べると、賛成は、男性が71.7%から60.8%、女性が56.4%から48.1%に、反対は、男性が19.7%から27.1%、女性が32.0%から39.3%に、改善傾向がみられる。また、平成30年の専業主婦世帯と共働き世帯の割合は1対2となっている。

Q. 共働き世帯の母親と父親の家事や育児時間の差は?

A. 平成28年の6歳未満の子どもを持つ共働き世帯の一日あたりの家事・育児に費やす時間は、夫が84分、妻が370分

★意見★

女性の社会進出が進んでも、性別役割分担意識が根強いと、職場や社会における家事や育児に対する理解や配慮はなかなか得られない。性別役割分担意識の解消に向けた啓発をより積極的に行うべき。また、子育て中や介護中であっても仕事が続けられるよう、一層の子育て支援や介護サービスの充実、女性のスムーズな職場復帰や再就職できるための支援に努めるべき。

在住外国人の実態について

～国際理解を進める施策展開を!!～

Q. 市内在住の外国人は何人いて、生活する上で課題となっていることは?

A. 今年4月末で外国籍市民は5661人、国籍は93か国。主に韓国・朝鮮が1989人、中国が1529人、ベトナムが453人、フィリピンが241人、台湾が173人で、「特別永住者」が1512人、「永住者」が1468人、「技能実習」が754人、「留学」が697人、「日本人の配偶者等」が330人。語学に関することや子どもの進学に関する相談が多く、国際交流センターで日本語教室や母語教室、学習支援などの子どもをサポートする事業を行っている。

★要望★

様々な課題を抱えながら、相談や、支援を受けることが出来ない方を作らないように、国際交流センターの周知に努めて欲しい。一方で、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなど様々な国際イベントの出場者が海外から来られる際に、ホストタウンになり、市民が外国人と交流し、外国の文化を理解する機会を提供し、市民の国際理解度を向上したり、他国に対する心理的距離を縮める機会を可能な限り創出して欲しい。

市立豊中病院の経営状況について

～他院の経営改革の研究を!!～

Q. 純損失が前年度より増加し、資金剰余額は減少しているが、現在の経営状況に対する評価は?

A. 平成29年度に比べ医業収益は増加したが、給与費、材料費等の医業費用も増加し、純損失が増加した。施設や設備を適切に維持更新し、質の高い医療を安定的に提供していくためには、資金剰余額を継続的に蓄積していくことが重要であり、赤字収支からの改善が必要と考えている

Q. 収支黒字の市立病院の調査や研究もすべきでは?

A. 地域の医療ニーズを的確に捉え創意工夫を図り、黒字収益をあげている医療機関もあると聞いており、地域特性や診療規模、施設設備等の諸条件は異なるが、民間活力やICTの活用など、他院の工夫を参考にしながら、導入の可能性について検討を行い、効率的な業務運営を図る。

★意見★

質の高い医療と効率的で安定的な病院経営を確保していくためには収支の黒字化は不可欠。黒字収益を上げている他院の調査を引き続き行い、他院の経営改革手法や収支改善策、業務改善策などを積極的に取り入れるべき。

発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています!!

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

